

調査統計委員会

概要・募集内容

情報通信機器市場のさらなる発展を目的に、市場動向を把握するための活動として、CIAJ会員のニーズアンケートに基づいた調査統計活動を実施しています。会員企業からの協力に支えられた受注出荷統計や中期需要予測などの調査統計活動の成果は、数多くの企業の事業検討に活用されるとともに、政策提言活動などを通じて、情報通信業界の発展や社会課題の解決に貢献しています。

本委員会では、日々革新する情報通信機器市場の通信技術や機器の統計に関する仕組み作りや、市場動向調査の企画提案なども行っておりますので、ご興味・ご関心のある皆様の参画をお待ちしております。

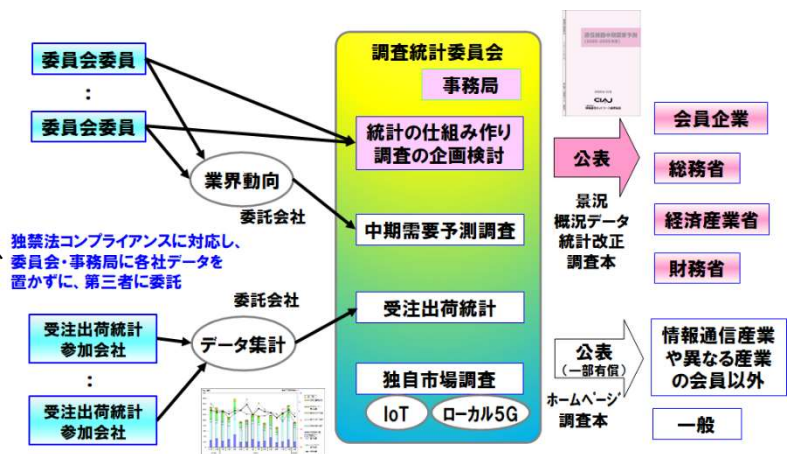
活動状況

2020年度の活動概要

- ◆委員会会合：10回開催、機種ごとのWG：6回開催
- ◆セミナー3回（総務省情報通信白書、中期、ローカル5G）
- ◆活動成果
 - ・受注出荷統計や動向ヒアリングによって最新の通信機器市場を分析、5年先までの国内市場と世界市場の予測を取り纏めた「通信機器中期需要予測」を12月に発刊。
 - ・市場の注目度や要求が高いテーマを先んじて企画検討し、当年度はローカル5G市場のユーザーニーズ調査を実施。

2021年度の活動トピックス

- ・CIAJの新しい方向性と合わせて、発展する通信インフラ領域に対して会員企業が新たな事業を検討する際に役立つような「新たな調査統計活動」の仕組みを構築。



参加のポイント(参加メリット)

調査統計委員会にご参加いただくことにより、年会費なしで、これらのメリットが受けられます。

- ◆市場動向調査の際に、国内市場やグローバル市場の詳細な動向情報をいち早く入手
- ◆受注出荷統計や、関連する省庁の生産輸出入統計などの統計情報から分析された市場動向の把握
- ◆委員の要望に沿った市場動向調査の企画や、通信技術や機器の統計に関する仕組み作り
(例えば5G/ローカル5Gに関連した、新たに創出される機器やソリューションの動向をいち早く把握するため)
- ◆省庁の関連部門との間で、統計や市場規模に関する情報交換やセミナーを実施

調査統計委員会

委員会社：岩崎通信機、NECプラットフォームズ、沖電気工業、
沖コンサルティングソリューションズ、京セラ、サクサ、東芝デジタルソリューションズ、ナカヨ、
日本電気、日本無線、パナソニック、パナソニック システムソリューションズ ジャパン、
日立情報通信エンジニアリング、富士通、ブラザー、三菱電機、ヤマハ
設立：1961年(昭和36年)4月 ★60周年★
年会費：なし
お問い合わせ先：市場調査部 中井誠治 s-nakai@ciaj.or.jp